

# 一期一会

神戸市立糺台小学校 6 - 3 松村幹也 学級通信 NO70 2003.10.30	
--	--

## 全国理科学研究会特集

10月24日(金)に研究会が終わりました。  
前にお知らせしたように本当に子どもたちの様子はすばらしいものでした。子どもたち自身の感想をお届けします。

- ・ 理科学研究会では、ぼくたちを見に来る先生がすごく多く30人ぐらいいは来ていたと思います。「六甲山はほんとうに地面の中にあつたのか?」ということパソコンなどで調べました。そして六甲山は地震を繰り返すたびに大きくなっているのだと初めて知りました。それからビデオを見て、とても分かりやすかったです。とても勉強になりました。
- ・ 1時間目が終わると同時にすごい人が入ってきました。授業をしていると書いていることを見られたり、質問されたり、すごく緊張しました。でも、だんだん慣れて授業に集中できるようになりました。ぼくは六甲山はマグマが噴火してできているんじゃないかと思いました。でも、それは違うという意見が多くてボツになりました。いろいろな先生と親しくなれてよかったです。でも二回目はあんまりしたくないと思いました。
- ・ 「六甲山のでき方」をしました。わたしは元々平らなところが、何かに押されて盛り上がったと考えました。ビデオを見て、元々丘だったのが東西から押されて山になったというのが分かりました。近畿地方は高い低い高い低いとなっていることも分かりました。不思議に思いました。
- ・ 「六甲山はどのようにしてできたのだろう」という課題で自分たちなりに予想し、フォーラム活動をしました。私の予想は「平らな土地に地震が起きて断層ができ、断層がぶつかりあって盛り上がり、山になった」という説でした。「噴火を繰り返して大きな山になった」という意見もあって、「六甲山のあたりにマグマが地中深くで、固まってできる花こう岩がたくさんある」という証拠が出されました。「な



るほどな」と思いました。やっぱり意見を口で言うだけより、証拠を見せられたら説得力があると思いました。フォーラム活動が一通り済んだあと、インターネットで調べて、好徳小学校の先生が詳しく説明してくれました。楽しい授業でした。

- ・ 先生たちが来て、とてもドキドキしました。ビデオを見たら、六甲山の様子がよく分かりました。ぼくは意見がありませんでした。思いつけませんでした。でも、人の発表を聞いて考えたら、ずっと分かりました。いい意見や話合いができました。また地層の勉強をしたいです。
- ・ 意外と多くの人が出てびっくりし、緊張しました。だけど「いつも通り」を心がけました。六甲山について勉強しました。「六甲山は地中深くにあったのだろうか？」「どのように上昇してきたのだろうか？」の2つの課題です。たくさん意見が出ました。ぼくは横から押されて高くなったと思いました。それについては映像を見て分かりました。それからゲストの先生に教えていただきました。「横から力が加わると高い所や低い所ができる。」と分かりました。いい研究会だったのでよかったです。
- ・ 課題に対して、わたしは「平らな土地に地震が起こったため断層ができて、六甲山ができた。」と思いました。予想を書いて顔を上げると前に糺台小にいたH先生がいたので、びっくりしました。フォーラム活動でもいろんな意見がでました。今度はわたしも発表できるようにしたいです。
- ・ 大勢の先生が各地から来ていて、私たちの授業を見ていました。六甲山のでき方について、考えていました。結論は「地震のはたらきによって上昇してきた。」ということだったけど、最初、わたしは、まわりが海で水によって堆積してできたと思いました。発表したときみんなからすごい「それは違うのじゃないのか？」と反論を受け、少しショックでした。しかし、その予想があきらめきれなくてコンピュータで調べていたら古代からジュラ紀にかけて海だったということが分かり、とてもうれしかったです。また好徳小学校の柳澤先生が詳細な説明をしてくださいました。いろいろな知識が頭に入り、とても有意義な一日でした。



- ・ 思っていたより人がいっぱい来てびっくりしました。分からないことがあって困っていると教えてくれた先生もいました。授業のときはあまり緊張せず、いつも通りでした。課題は難しくて何となく分かった感じだったけど、ゲストの先生の解説が分かりやすく理解できました。2年のときの研究会は覚えていないけど、神戸の代表の学校に選ばれるなんてすごいなと思いました。